

みずほマーケット・トピック(2020年1月20日)

米大統領選挙と為替~潜む一抹の不安~

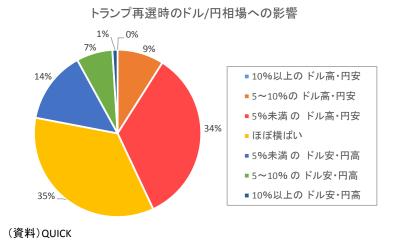
為替市場ではまだ注目される状況にはないが、2020年最大の注目材料が米大統領選挙であることに議論の余地はあるまい。この点、今朝発表された QUICK 社と日経ヴェリタスが共同で実施した月次調査の結果は「心の準備」を整える上で参考になる。「トランプ大統領が再選し、ドル/円相場への影響は軽微」といった市場予想の中心に概ね沿う結果が示されているが、調査を見る限り、「外為市場参加者の 20~30%が敗戦含みの結果に備えている」という見方も出来そう。大統領選挙にまつわる最大の注目点が「トランプ再選の可否」であることは論を待たないが、これは「民主党候補には誰がなるか」という問いと密接な関係もあろう。この点、今回の調査では 65%が中道穏健派のバイデン氏を予想している。左派色が非常に強いウォーレン氏やサンダース氏の候補者指名を予想する向きはマイナーだが、仮に候補となり勝利した場合は相応の円高進行を警戒する向きも多い。まずは 3~7 月が大きな山場となりそう。

~米大統領選挙に潜む一抹の不安~

為替市場ではまだそれをテーマに取引が行われるような状況にはないが、2020 年最大の注目材料が米大統領選挙であることに議論の余地はないだろう。この点、今朝発表された QUICK 社と日経ヴェリタスが共同で実施した月次調査の結果は「心の準備」を整える上で参考になる。定例で実施されている月次調査は毎回最後に時宜を捉えた特別質問が用意されているが、1 月はずばり「2020 年の 11 月 3 日の米大統領選について」であった。現時点では「トランプ大統領が再選し、ドル/円相場への影響は軽微」といった予想が中心的な思惑かと思われるが、調査結果は概ねその思惑と一致するものでありながら、波乱についても一抹の不安を覗かせるものであった。

~「20~30%が敗戦含みの結果に備えている」が実情か~

最初の質問は「トランプ大統領の再 選確率をどれくらいだと予想します か」であり、単純平均や予想中央値、 最頻値、最大・最小値などが紹介され ている。再選確率に関し、単純平均で は 65%という結果であり、額面通り受 け止めれば 40%弱は「トランプ敗戦」 に構えているということになる。再選を 見込む向きは思ったほどではないと いう印象も受ける。もっとも最小値でゼ ロ%という予想もあるため、こうした数



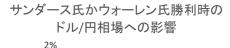
2020年1月20日 1

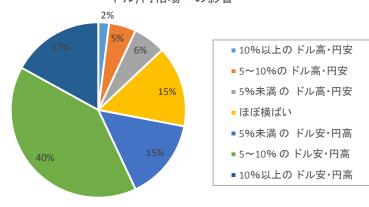
字に引っ張られている感も否めない。詳しく見ると、最頻値は 80%、中央値が 70%などであるため、「20~30%が敗戦含みの結果に備えている」という言い方が実情に近いかもしれない。これを「波乱なし」を前提としていそうな現状の市場ムードに照らして意外と受け止めるべきかは評者に拠るだろう。ただ、トランプ敗戦がテールリスクと言えるほどマイナーなイベントとは受け止められていないようにも感じられる。また、外為調査ゆえ、「トランプ再選の場合、投票日から年末までにドル円相場はどう動くか」という質問も当然行われている。これに対しては「5%未満のドル高・円安」が 34%、「ほぼ横ばい」が 35%と回答している(前頁図)。要するに「トランプ再選ならば為替市場への影響は軽微」という整理になる。恐らくその可能性は最も高いのだろう。

だが、敢えて慎重な見方をすれば、「再選を果たせばもう選挙の心配をしなくても済む」という怖さもある。米中貿易協議が長引くことで国内製造業ひいては国内景気が減速する状況が続けば再選に悪影響が及びかねない…そのような配慮が第一段階合意や為替操作国認定解除に繋がったという見方はある。だとすれば、「再選さえ果たせば好きなだけ中国を追い詰める」という懸念もあながち誤った見方とは言えないだろう。もっとも、トランプ大統領は通商関係でメリットを享受できると判断すれば譲歩に踏み切れる人物であるのに対し、領土や人権問題から中国をけん制する対中強硬派の米議員よりはましだという見方もある(領土や人権は「価値観」の問題であり、容易には合意点を探れないため)。そのように考えると、「トランプ再選後に米中関係が一段と拗れる」という読みは悲観的に過ぎるかもしれず、むしろトランプ敗戦時に「中国強硬姿勢復活への警戒感から円高が進行」という展開を頭の片隅に置いた方が良いのかもしれない。

~民主党候補の行方~

大統領選挙にまつわる最大の注目点が「トランプ再選の可否」であることは論を待たないものの、これは「民主党候補には誰がなるか」という論点と密接な関係がある。この点も今回の調査では問われており、65%が中道穏健派のバイデン氏を予想している。上述の再選確率の問いも合わせ見れば「トランプ大統領の相手は恐らくバイデン氏であり、そうであれば現職大統領が恐らく(65%の確率で)勝てる」というの





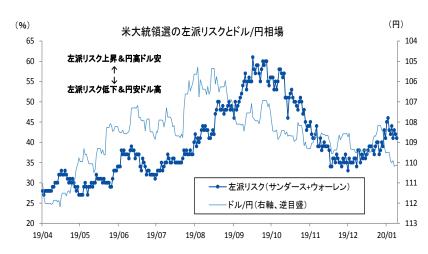
(資料)QUICK

が為替市場参加者の大勢と見受けられる。ちなみに調査ではバイデン氏がトランプ大統領に勝利した場合のドル/円相場への影響も質問しており、ここでも「ほぼ横ばい」との回答が 38%と最多だった。「トランプ大統領再選でなくとも、バイデン候補勝利ならば為替市場に対しては無風」という整理なのだろう。片や、左派色が非常に強いウォーレン氏やサンダース氏が候補となり、勝利した場合は「5~10%のドル安・円高」が 40%、「10%以上のドル安・円高」が 17%と相応の円高進行を警戒する向きが多い(図)。とはいえ、今回の調査では民主党候補者に関してサンダース氏は 12%、

2020年1月20日 2

ウォーレン氏は8%にとどまっており、極端な左派候補者が指名され、さらにこれが勝利し円高を招来する可能性はやはりテールリスクと整理して差し支えなさそうである。

調査を総合すれば、大統領選挙が為替市場を揺るがす材料になるとしたらやはり「民主党候補者がウォーレン氏かサンダース氏であった場合」そして「その候補者がトランプ大統領に勝利した場合」である。この点、まず民主党候補者は3月のスーパーチューズデーを経て7月中旬に決まる。要するに、大統領選挙の本番は11月だが、ここから半年間が相場に影響を与える



(資料) Bloomberg、オンラインブックメーカー「PredictIt」

左派リスクの見極めにとって重要な時期ということになる。その意味でウォーレン氏かサンダース氏の支持率合計とドル/円相場をプロットした図表などは「大統領選挙とドル/円相場」の現状と展望を 漠然と把握するにあたっては有用な視覚情報を与えてくれるものになるだろう。

> 市場営業部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

2020年1月20日 3

パックナンパーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html

2月20日 1月1日	発行年月日	.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html 過去6か月のタイトル
2005年17月1日 中国の発発性間が実践を受けて、リルラの大の間で、 2005年17月1日 中の時間、対象が対象がある。中の中央は、アインのでは、アインの		. –
2002年1月9日		
2009年17日日 初から中上下びの成立。 1982年の下げ、どの中型を上げ、		
2000年1月2日		
2009年19月1日 2009年19月1日 2019年19月1日 2019年19月1		
2009年12月25日 2007年 人ンソ共和の、金巻をもの 2009年12月25日 2009年22月25日 2009年22月2		
2009年12月2日 2009年12月2日 2009年2月2日 2009年2月2日 2009年12月2日 大学 (大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 (大学 大学 大		
2016年19月3日		
2019年12月1日		
#### Artifles (2014年12月1日 日本)		
2019年17月17日 日報金加松政策の会が大いであります。 2019年17月17日 日報金加松政策の会が大いでありません。 2019年17月17日 日報金加松政策の会が大いであり、1月70日 17月7日 17月	2019年12月19日	米大統領選挙の左派リスクは2020年の波乱要因か?
2019年12月16日 日本金融資金表生の企力ととっ 2019年12月17日 日本金融の企業とは「今の上では2019年12月17日 2019年12月17日 日本金融の企業とは1982年17月20日 日本会議会は1982年17月20日 2019年12月17日 日本会議会は1982年17月20日 日本会議会は1982年17月20日 2019年12月17日 日本会議会は1982年17月20日 日本会議会は1982年17日2日 日本会議会は1982年17日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2日2		
2019年12月16日 漫画版 ICORR (関連の主義など、「次の山 は2020年12月17日) 漫画版 ICORR (関連の主義など、) であり、		
2019年12月15日		
2019年12月12日 FOMC を終えて、** ** 7.7		
2019年12月16日		
2019年12月10日		
2019年12月3日 本開始資金の金融を担当を開びまっては、19年10月12日に日本 1979年12月3日 1979年12月		
2019年12月5日		
2019年17月3日		
2019年11月29日 第末級	2019年12月5日	ECB政策理事会ブレビュー~デビュー戦、3つの見どころ~
2019年11月29日 円度リスの点は、"ソケ.が他12020年 - 2019年11月29日 円度リスの点は、"ソケ.が他12020年 - 2019年11月20日 円度リスの点は、"ソケ.が他12020年 - 1402年11月20日 円度リスの点は、"ソケ.とない。このは2019年11月19日 1402年11月19日 1402年11月19		
2019年11月20日 円		
2019年11月23日 名月突然為着情報。NEER)で読む2019年のリル申録 2019年11月23日		ACT I THAT
2019年11月21日		
2019年11月19日		
2019年11月18日 1年後の東に打ちたのか? ソセション回避・残る不安~ 2019年11月18日 1年後の東にすらかの? ソセション回避・残る・ 2019年11月18日 1年後の東にすらかの? ソセション回避・残る・ 2019年11月18日 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1		
2019年11月19日 大学の世界151とのか? - リセッシュの最終表不安 - 2019年11月19日 接側の選上で 子際砂葉和について考える - 1019年11月19日 大棚の選上で 子際砂葉和について考える - 1019年11月19日 欧州の「翌点 選手 権助権権の委託をある 子属 - 1019年11月19日 欧州の「翌点 選手 権助権権の委託をある 子属 - 1019年11月19日 2019年11月19日 2019年10月20日 2019年10月21日 2	2010T11/J20H	
2019年11月19日 横側の道・ビ・野砂球線和について考えを 2019年11月19日 湖水板の3部。原産・輸出機能が要目にたドイツ - 2019年11月19日 四元予集の機能では一下に対して、) 1 日本	2019年11月19日	
2019年11月15日 関本版 198 表現 全 組出版が異似た 198 年 198 日 198 年 198 日		「株価の虜」と「予防的緩和」について考える
2019年11月13日 加水・川田県の貴康とお「中の不人気」 2019年11月1日 連本版 2019年11月20日 万里火力の点検・匹例 + 2019年10月20日 万里火力の点検・匹例 + 2019年10月20日 万里火力の点検・匹例 + 2019年10月20日 万里火力の点検・ 近州・中国の信息はあるか? - 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月20日 2019年10月1日 2019年10月3日 2	2019年11月15日	週末版 (ラガルド体制の 'overhaul (刷新)」ミッションの行方 ~ 総裁会見と投票方式について ~)
2019年11月1日 公のサラジル省官 vs リブラの様相に 2019年11月8日 法本版 2019年11月8日 法本版 2019年11月1日 法本版 2019年11月3日 共産 2019年11月3日 日 ブランル部官での総合 ※ 37.00 機能に 2019年10月30日 フガルド部での総合 ※ 37.00 機能に 2019年10月30日 フガルド部での総合 ※ 37.00 機能に 2019年10月30日 フランスの点体・医が、中国の機関はあるか? ~ 2019年10月30日 フランスの点体・医が、中国の機関はあるか? ~ 2019年10月21日 現プラ、際は「で 数する 2020・ザカー/ / グ語を育師 ~ 2019年10月31日 現プラ、際は「で 数する 2020・ザカー/ / グ語を育師 ~ 2019年10月31日 現本版 (区級政策重要会議事業 2021年 2019年10月31日 日		
2019年11月1日 2019年11月1日 3東 表版 2019年11月1日 3東 表版 2019年11月1日 3東 表版 2019年11月20日 7月ルド新ECB総裁を巡る3つの論点 2019年10月20日 7月ルド新ECB総裁を巡る3つの論点 2019年10月20日 7月ルド新ECB総裁を巡る3つの論点 2019年10月20日 7月北ド新ECB総裁を巡る3つの論点 2019年10月20日 7月北ド新ECB総裁を巡る3つの論点 2019年10月21日 2019年10月21日 3度 表版 2019年10月21日 2019年10月2		
2019年11月1日 選本版		
2019年10月29日		
2019年10月28日 円安リスクの成体。欧州・田園の復調はあるか? ~ 2019年10月28日 円安リスクの成体。欧州・田園の復調はあるか? ~ 2019年10月28日 日安リスクの成体。欧州・田園の復調はあるか? ~ 2019年10月28日 日東大田北で一致する区の・サカットへが証言を前に ~ 2019年10月28日 月東大田北で一致する区の・サカットへが証言を前に ~ 2019年10月28日 月東大田北で一致する区の・サカットへが証言を前に ~ 2019年10月28日 月東大田北で一致する区の・サカットへが証言を前に ~ 2019年10月18日 日東日の下間人を受けて、京北かった「学養と」 ~ 2019年10月18日 日東日の下間人を受けて、東北神の大田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田		
2019年10月28日 予ず整額機能のECBE製金・企機の「生き予引」。 2019年10月28日 予ず整額機能のECBE製金・企機の「生き予引」。 2019年10月28日 別末版 別末版 2019年10月28日 別末版 2019年10月28日 別末版 2019年10月28日 別末版 2019年10月28日 別すたしたい「10月3日 2019年10月28日 別末版 にしたい「10月3日 の映線・大阪と店・ことは - 本邦郷人投資家のが外資金フロー動向12019年9月分 2019年10月16日 別末版 (区の政策理事を報告を含 3・200歳主整理 -) 2019年10月16日 2019年10月16日 2019年10月16日 2019年10月16日 2019年10月16日 2019年10月16日 2019年10月17日 日本版 (区の政策理事を消費更更を受けて、議師制助の読み方、議事要旨としては秀達 -) 2019年10月17日 日本版 (区の政策理事を消費更要を受けて、議師制助の読み方、議事要旨としては秀達 -) 2019年10月18日 2019年10月3日 日本の (国際		
2019年10月28日 東大野 野子 大野 大野 大野 大野 大野 大野		
2019年10月28日 遠末版 2019年10月28日 2019年10月28日 2019年10月28日 2019年10月28日 2019年10月28日 2019年10月28日 2019年10月28日 2019年10月21日 2019年10月22日 2019年10月21日 2019年20月21日 2019年20日21日 2019年2		
2019年10月21日 思いせんい 10月3 月日に一数する200 - ザッカーバーケ海音を前に - 2019年10月18日 日本		
2019年10月18日 思小財に大い「10月31日」の経緯・次に起こることは一本形態。投資家の対外資金フロー動向(2019年9月分)	2019年10月24日	またも史上最小値幅~体感「5円」以下という異例~
本杯側人投資家の対外資金プロ一動向 (2019年9月分) 2019年10月16日		
2019年10月18日	2019年10月21日	
2019年10月16日 FRBのTIS購入を受けて、常いかった「する賢さ、 2019年10月16日 日相場の需給環境にどの政策理事会議事要目を受けて、議論紛糾の読み方、議事要目としては秀逸 -) 2019年10月9日 日相場の需給環境について、総小均衡 - 2019年10月9日 日担場の需給環境について、総小均衡 -		
2019年10月1日		
2019年10月10日 円相場の需給環境について・縮小均衡 - 2019年10月9日 居らくリプラ計画 - 初のメンバー脱退表明を受けて・ 2019年10月7日 据らくリプラ計画 - 初のメンバー脱退表明を受けて・ 2019年10月7日 据らくリプラ計画 - 初のメンバー脱退表明を受けて・ 2019年10月4日 末底 散き 数金 から 次 は 大田 を 2019年10月4日 末底 散き 数金 から 次 は 上田 を 2019年10月3日 不明 を 2019年10月3日 二 - ロ 圏の物価情勢の現状と展望 - 日本化の適潔用? - 2019年10月3日 対験遺産業気消費ので 底 は見えそか? 2019年9月27日 遠末版 に 変起こった ドイツの乱 ・ ラウテンシュレーガーECB理事辞任の読み方 - 2019年9月26日 空リスクの点体 - 財政政策というアップサイドリスク - 2019年9月26日 空リスクの点体 - 財政政策というアップサイドリスク - 2019年9月26日 空リスクの点体 - 財政政策というアップサイドリスク - 2019年9月26日 連詢内側 化するマイナス金 和版策 2019年9月27日 連詢内側 化するマイナス金 和版策 2019年9月27日 連詢内側 化するマイナス金 和版策 2019年9月17日 「連詢内側 化するプレニー・ 日原くし 機念強まるパッケージ緩和 - 2019年9月18日 連末版 [ECB以策理事会レビュー - 出尿くし 機念強まるパッケージ緩和 - 2019年9月19日 連末版 [ECB以策理事会レビュー - 本PP 時間は国験だが、需払いはしたいところ - 2019年9月19日 通数会プレビュー - 9月の一手と利下げの行方 - 2019年9月19日 連末版 [ECB以策理事会 2012年 - 本PP 時間は国験だが、需払いはしたいところ - 2019年9月3日 プンジットを巡路施設理 - ボンドドルは120割れ定着か - 2019年9月3日 元ま版 [ECB以策理事金をプレビュー - 本PP 時間は国際だが、需払いはしたいところ - 2019年9月3日 元ま版 [ECB以策理事金 2012年 - 本P P P F P S P P F P F P F P F P F P F P		
2019年10月8日		
2019年10月8日 据6(リブラ計画・初のメンバー附退表明を学けて - 2019年10月4日 場末版 製造業から主敬達ない。のたらさ - 2019年10月4日		
2019年10月1日		
2019年10月3日 ユーロ圏の物価情勢の現状と展望 - 日本化の過渡期? ~ 2019年10月2日		
2019年9月27日 図札製造業景気指数の「底」は見えそうか? 2019年9月26日 週末版[三度起こった「ドイツの乱」・ラウテンシュレーガーECB理事辞任の読み方~) 2019年9月26日 円安リスクの点検・財政政策というアップサイドリスク~ 2019年9月26日 為替相場の現状を概載する・REERを通して見えること~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年8月分) 2019年9月21日 学師狗肉、化するマイナス金利政策 2019年9月11日 別点高を円安」が重荷になる日本経済 2019年9月11日 別点高を円安」が重荷になる日本経済 2019年9月11日 別点高を円安」が重荷になる日本経済 2019年9月11日 別域の大きのマイナス金利政策 2019年9月11日 別域の大きのマイナス金利政策 2019年9月11日 別域の大きのマイナス金利政策 2019年9月11日 別域の大きのマイナス金利政策 2019年9月11日 別域の大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの	2019年10月4日	週末版(製造業から非製造業への波及は始まったのか~ISM景気指数の悪化を受けて~)
2019年9月26日		
2019年9月26日 円安リスクの点検・財政政策というアップサイドリスク〜 2019年9月26日 為替相場の現状を概観する。REERを適して見えること		
2019年9月25日 為替相場の現状を概載する - REERを適して見えること		
本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年8月分) 2019年9月20日 「羊頭刺肉)化するマイナス金利政策 2019年9月17日 「原油高&円安」が重荷になる日本経済 2019年9月17日 「原油高&円安」が重荷になる日本経済 2019年9月17日 「原油高&円安」が重荷になる日本経済 2019年9月11日		
2019年9月24日 「羊頭狗肉」化するマイナス金利政策 2019年9月17日 「寮油高、B中食」が重荷になる日本経済 2019年9月17日 「寮油高、B中食」が重荷になる日本経済 2019年9月11日 均衡イメージが変わらない円の基礎的需給環境 2019年9月11日 日銀会合プレビュー〜日外に乗荷により、 2019年9月11日 日銀会合プレビュー〜日外に乗荷により、 2019年9月10日 日銀会合プレビュー〜日外に切けの下ででは、 2019年9月6日 週末版 (ECB政策理事会レビュー・APP再開は困難だが、露払いはしたいところ〜) 2019年9月6日 週末版 (ECB政策理事会プレビュー〜APP再開は困難だが、露払いはしたいところ〜) 2019年9月5日 ブレグジットを巡る論点整理・ボンド/ドルは120割れ定着か〜 2019年9月3日 リプラを全否定したメルシュ講演・不安はどこに〜 2019年9月3日 リプラを全否定したメルシュ講演・不安はどこに〜 2019年9月3日 リプラを全否定したメルシュ講演・不安はどこに〜 2019年9月3日 リプラを全否定したメルシュ講演・不安はどこに〜 2019年8月30日 週末版 2019年8月20日 円安リスクの点検〜警戒すべきトランブ減税第二弾〜 2019年8月20日 円高・ドル高という地合い・105円割れを受けて〜 2019年8月21日 円ちリスクの点検〜警戒すべきトランブ減税第二弾〜 2019年8月22日 FOMC議事要旨を受けて〜「調整」の誘惑、日銀の経験〜 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月15日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月16日 ドイツに引きずられるユーロ風経済 2019年8月16日 リードクリニので、カー・カー・カー・フェー・カー・フェー・カー・フェー・カー・フェー・カー・フェー・カー・フェー・カー・フェー・フェー・カー・フェー・フェー・フェー・カー・フェー・フェー・カー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェ	2019年9月25日	
2019年9月20日	2019年9日24日	
2019年9月17日 「原油高&円安」が重荷になる日本経済 2019年9月17日		
2019年9月13日 週末版(ECB政策理事会レビュー ~ 出尽(し懸念強まるパッケージ緩和 ~) 2019年9月11日 均衡イメージが変わらない円の基礎的需給環境 2019年9月6日 日銀会合プレビュー ~ 9月の一手と利下げの行方 ~ 2019年9月6日 週末版(ECB政策理事会プレビュー ~ APP再開は困難だが、露払いはしたいところ ~) 2019年9月5日 ブレグジットを巡る論点整理 ~ ポンド/ドルは120割れ定着か ~ 2019年9月3日 リブラを全否定したメルオ場の関係 ~ ISM悪化を受けて ~ 2019年9月3日 リブラを全否定したメルシュ講演 ~ 不安はどこに ~ 2019年9月3日 リブラを全否定したメルシュ講演 ~ 不安はどこに ~ 2019年9月30日 週末版 2019年8月30日 週末版 2019年8月37日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月28日 円高・ドル高という地合い ~ 105円割れを受けて ~ 2019年8月28日 円高・ドル高という地合い ~ 105円割れを受けて ~ 2019年8月28日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月19日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分) 2019年8月16日 週末版(ロチェギリの対米証券投資について ~ 下期以降の景色は大分変わりそう ~) 2019年8月16日 週末版(コー国経済 2019年8月16日 図末版(コー国経済 2019年8月18日 10月 1		「原油高&円安」が重荷になる日本経済
2019年9月10日 日銀会合ブレビュー~9月の一手と利下げの行方~ 2019年9月6日 週末版 [ECB政策理事会ブレビュー~APP再開は困難だが、露払いはしたいところ~) 2019年9月5日 ブレグジットを巡る論点整理・ボンド/ドルは120割れ定着か~ 2019年9月3日 米企業心理とドル相場の関係 -ISM悪化を受けて~ 2019年9月3日 リブラを全否定したメルシュ講演 - 不安はどこに~ 2019年9月2日 消えない米国のドル売リ介入観測について~諸刃の剣~ 2019年8月30日 週末版 2019年8月29日 ユーロ圏投資ファンド統計に見るボートフォリオリバランス効果 2019年8月29日 ユーロ圏投資ファンド統計に見るボートフォリオリバランス効果 2019年8月26日 円高・ドル高という地合い~105円割れを受けて~ 2019年8月26日 円高・ドル高という地合い~105円割れを受けて~ 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月11日 リカースとときたECB 2019年8月16日 週末版 (2019年上期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月16日 週末版 (2019年上半期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月16日 週末版 (2019年上半月の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月16日 週末版 (2019年上半月の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月16日 週末版 (2019年上半月の対・証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月16日 週末版 (2019年上半月の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月16日 週末版 (2019年上半月の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月17日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月18日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月19日 週末版 (2019年8月19日 2019年8月19日 週末版 (2019年8月19日 2019年8月19日 週末版 (2019年8月19日 2019年8月19日 2019年8月8日 2019年8月8日 2019年8月8	2019年9月13日	週末版(ECB政策理事会レビュー~出尽くし懸念強まるパッケージ緩和~)
2019年9月6日		
2019年9月5日 ブレグジットを巡る論点整理 ~ ポンド/ドルは1.20割れ定着か ~ 2019年9月4日 米企業心理とドル相場の関係 ~ ISM悪化を受けて ~ 2019年9月3日 リブラを全否定したメルシュ講演 ~ 不安はどこに ~ 2019年9月2日 消えない米国のドル売り介入観測について ~ 諸刃の剣 ~ 2019年8月30日 週末版 2019年8月29日 ユーロ圏投資ファンド統計に見るボートフォリオリバランス効果 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月26日 円高・ドル高という地合い ~ 105円割れを受けて ~ 2019年8月23日 週末版 (ECB政策理事会議事要旨を受けて ~ 9月のパッケージ緩和が濃厚に? ~) 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月19日 YCC、捨てる日銀と拾うECB 2019年8月19日 YCC、捨てる日銀と拾うECB 2019年8月19日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月19日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月19日 調末版 2019年8月19日 場上がよる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月19日 週末版 2019年8月19日 湯下ル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月19日 週末版 例の意味もなかったパウエル議長の失言 ~ トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~)		□ 国銀会台フレビュー ~ 9月の一手と利下げの行方 ~ 1
2019年9月3日 米企業心理とドル相場の関係 ~ ISM悪化を受けて ~ 2019年9月3日 リプラを全否定したメルシュ講演 ~ 不安はどこに ~ 消えない米国のドル売り介入観測について ~ 諸刃の剣 ~ 2019年8月30日 週末版 2019年8月30日 週末版 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月27日 円容リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月27日 円容リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月28日 間高・ドル高という地合い ~ 105円割れを受けて ~ 7回 2019年8月29日 週末版 (ECB政策理事会議事 要旨を受けて ~ 9月のパッケージ緩和が濃厚に? ~ 7回 2019年8月29日 ドイツのISバランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISバランスは遂に変わるのか? 2019年8月20日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分) 2019年8月10日 リてC、技でる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版 (2019年上半期の対米証券投資について ~ 下期以降の景色は大分変わりそう ~ 7回 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 ドル高上よりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月3日 週末版 2019年8月16日 選に突破した「1ドル=7・ファニ、 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月5日 週末版 (何の意味もなかったパウェル議長の失言 ~ トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~ 7回 2019年8月2日 週末版 (日本 2019年8月2日 2019年8月2日 週末版 (日本 2019年8月2日 2019		
2019年9月3日 リブラを全否定したメルシュ講演 ~ 不安はどこに ~ 2019年8月30日 消えない米国のドル売り介入観測について ~ 諸刃の剣 ~ 2019年8月30日 週末版 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月28日 週末版 (ECB政策理事会議事要旨を受けて ~ 9月のパッケージ緩和が濃厚に? ~) 2019年8月28日 週末版 (ECB政策理事会議事要旨を受けて ~ 9月のパッケージ緩和が濃厚に? ~) 2019年8月28日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月19日 YCC。捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版 (2019年上半期の対米証券投資について ~ 下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月16日 月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月16日 リホ版 (2019年上半期の対米証券投資について ~ 下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月17日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月18日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月19日 週末版 3 に突破した「ドル=ア・フ・・対抗措置としての元安 ~ 2019年8月6日 米7月雇用統計を受けて ~ 超勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月2日 週末版 (何の意味もなかったパウエル議長の失言 ~ トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~)		
2019年8月30日		
2019年8月30日 週末版 2019年8月29日		
2019年8月29日 ユーロ圏投資ファンド統計に見るボートフォリオリバランス効果 2019年8月27日 円安リスクの点検 ~ 警戒すべきトランブ減税第二弾 ~ 2019年8月26日 円高・ドル高という地合い ~ 105円割れを受けて ~ 2019年8月23日 週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて ~ 9月のパッケージ緩和が濃厚に? ~) 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分) 2019年8月19日 ソCC, 捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版(2019年上半期の対米証券投資について ~ 下期以降の景色は大分変わりそう ~) 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月19日 中国の"次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月19日 別末版 2019年8月3日 第 ドル高上まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分 ~ 2019年8月6日 遂に突破した"1ドル=7.0元。 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月5日 週末版		
2019年8月26日 円安リスクの点検~警戒すべきトランブ減税第二弾~ 2019年8月26日 円高・ドル高という地合い~105円割れを受けて~ 2019年8月23日 週末版 (ECB政策理事会議事要旨を受けて~9月のパッケージ緩和が濃厚に?~) 2019年8月21日 FOMC議事要旨を受けて~「調整」の誘惑、日銀の経験~ 2019年8月21日 ドイツのISパランスは遂に変わるのか? 2019年8月20日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分) 2019年8月19日 YCC。捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版(2019年上半期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月13日 ドル高止まりによる引き締め効果~利上げ17回分?~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 選末版 2019年8月6日 選末版 2019年8月6日 米7月雇用統計を受けて~超勢的な鈍化は明らか~ 2019年8月2日 週末版 1000年8月2日 週末版 2019年8月2日 週末版 3019年8月5日 米7月雇用統計を受けて~超勢的な鈍化は明らか~ 2019年8月2日 週末版 1000年8月2日		ユーロ圏投資ファンド統計に見るポートフォリオリバランス効果
2019年8月28日 円高・ドル高という地合い ~ 105円割れを受けて ~ 2019年8月23日		
2019年8月22日 FOMC議事要旨を受けて~「調整」の誘惑、日銀の経験~ 2019年8月21日 ドイツのIS/「ランスは遂に変わるのか? 2019年8月20日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分) 2019年8月19日 YCC, 捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版(2019年上半期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月16日 ドル高止まりによる引き締め効果~利上げ17回分?~ 2019年8月19日 週末版 2019年8月6日 遂に突破した「1ドル=7.0元」、対抗措置としての元安~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて~趨勢的な鈍化は明らか~ 2019年8月5日 週末版 (何の意味もなかったパウエル議長の失言~トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)		円高・ドル高という地合い~105円割れを受けて~
2019年8月21日 ドイツのISバランスは遂に変わるのか? 2019年8月20日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分) 2019年8月19日 YCC。捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版(2019年上半期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月14日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月19日 週末版 2019年8月6日 遂に突破した「1ドル=7.0元」、対抗措置としての元安~ 2019年8月6日 迷に突破した「1ドル=7.0元」、対抗措置としての元安~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて~趨勢的な鈍化は明らか~ 2019年8月2日 週末版(何の意味もなかったパウエル議長の失言~トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)		
2019年8月20日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年7月分) 2019年8月19日 YCC、捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版(2019年上半期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月14日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月13日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 迷に突破した「1ドル=7.0元」 ~ 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月2日 週末版 [何の意味もなかったパウエル議長の失言 ~ トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~)		
2019年8月19日 YCC。捨てる日銀と拾うECB 2019年8月16日 週末版(2019年上半期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月15日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月13日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 遂に突破した「1ドル=7.0元。 対抗措置としての元安~ 2019年8月6日 米7月雇用統計を受けて~超勢的な鈍化は明らか~ 2019年8月2日 週末版 何の意味もなかったパウエル議長の失言~トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)		
2019年8月16日 週末版(2019年上半期の対米証券投資について~下期以降の景色は大分変わりそう~) 2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月14日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月3日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 遂に突破した「1ドル=7.0元」 ~ 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月6日 米7月雇用統計を受けて~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月2日 週末版 (何の意味もなかったパウエル議長の失言~トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)		
2019年8月15日 ドイツに引きずられるユーロ圏経済 2019年8月14日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月13日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 選に突破した「1ドル=7.0元」 ~ 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月2日 週末版 (何の意味もなかったパウエル議長の失言 ~ トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~)		
2019年8月14日 中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか? 2019年8月13日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 遂に突破した「1ドル=7.0元」 ~ 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月2日 週末版(何の意味もなかったパウェル議長の失言 ~ トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~)		
2019年8月13日 ドル高止まりによる引き締め効果 ~ 利上げ17回分? ~ 2019年8月9日 週末版 2019年8月6日 遂に突破した「1ドル=7.0元」 ~ 対抗措置としての元安 ~ 2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて ~ 趨勢的な鈍化は明らか ~ 2019年8月2日 週末版(何の意味もなかったパウェル議長の失言 ~ トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に ~)		
2019年8月9日	2019年8月13日	
2019年8月5日 米7月雇用統計を受けて~趨勢的な鈍化は明らか~ 2019年8月2日 週末版(何の意味もなかったパウエル議長の失言~トランプ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)	2019年8月9日	週末版
2019年8月2日 週末版(何の意味もなかったパウエル議長の失言~トランブ関税とインフレ停滞も利下げの理由に~)		
	2019年8月5日 2010年8日2日	ハ/기推門356 ビ叉1) く 「超努的分数化は内内のか~ 週末版 (何の音はまかかったがロール)鎌倉の作宝 ~トランプ問題とインフレ魔迷ま利下げの理由に~)
		Edwin Power Po